

2009年2月25日

社会人野球制度改革（案）  
日本選手権一回戦分割開催について

事業委員会

1. 日本選手権一回戦分割開催の背景

(1) 京セラドーム大阪における動員状況

数千人の動員はあるが器の大きさから空席が目立つ印象がある。また、ここ数年の観客動員は伸びていない。また、一回戦に比べ2回戦、準々決勝の集客はさらに厳しい。

(2) 大会期間・時期の問題

社会人野球シーズンの短縮を図るため、11月上旬までに終了するスケジュールを想定した場合、プロ野球の本拠地である球場を続けて現行の11日間確保することは難しい。

(3) 地域への野球振興

企業スポーツとしての社会人野球の存在価値は、人材育成、社員の帰属意識と一体感の醸成、社会貢献、そして、企業のPRである。言うまでもなく、都市対抗や日本選手権に出場することが最大の価値観である。一方で、現行制度の中で地方チームにとっては、東京や大阪でなければ価値観を実感できないことになり、将来的に社会人野球のチームは東京・大阪に集中してしまう恐れもある。そこで、この分割開催における地域振興の意図するところは、日本選手権の舞台の一部を地方に移すことにより、地方のチームの存在価値を高めていこうとするものである。

(4) 近畿地区連盟との協議

12月に事業委員会を開催し、近畿地区連盟との協議を行った。2008年11月の理事会には1、2回戦の分割シュミレーションを提出しているが、京セラドームとのこれまでの経緯から、1、2回戦の試合を除く、準々決勝からの7試合のみでは、開催に当たりこれまで球場使用料の減免等に配慮してきた球場側の理解が得られにくいとの判断から、1回戦16試合の分割案とし、状況を見ながら次の段階へ移すことで上申することとした。

## 2. 分割開催案

### 【開催概要】

- ◆ 本大会出場チーム数 32
- ◆ 出場枠（今後の情勢により要検討）  
都市対抗優勝（1）、クラブ選手権優勝（1）、指定 JABA 大会優勝（9）、各地区最終予選枠（21）  
※各地区最終予選枠の内訳が妥当かどうか再考する。
- ◆ 試合概要…別添のトーナメント表参照

#### 【1回戦】 16 試合の開催球場

- 九州地区 2 試合 ⇒（九州地区の出場チームから 2 チームをシード）
- 四国地区 1 試合 ⇒（四国地区の出場チームから 1 チームをシード）
- 中国地区 2 試合 ⇒（中国地区の出場チームから 2 チームをシード）
- 近畿地区 2 試合 ⇒（近畿地区の出場チームから 2 チームをシード）
- 東海地区 4 試合 ⇒（東海地区の出場チームから 4 チームをシード）
- 関東地区 3 試合 ⇒（関東地区の出場チームから 3 チームをシード）
- 北信越地区 1 試合 ⇒（北信越地区の出場チームから 1 チームをシード）
- 東北地区 1 試合 ⇒（東北地区の出場チームから 1 チームをシード）

※原則として 1 会場につき 1 日 1～2 試合とし、管轄地区連盟と協議する。  
※北海道での試合が時期的に可能であれば、東海から 1 試合を移すことも検討する。

#### 【2回戦以降】

京セラドーム大阪

- ◆ 試合球場の確定  
試合球場は各担当地区連盟が前年度中に決める。
  - ◆ シードチームの確定  
原則として、都市対抗優勝、クラブ選手権優勝、各 JABA 大会優勝の順に各地区連盟ごとに決める。
  - ◆ 動員対策  
観客動員に繋がる組み合わせシード制について研究する。  
例えば、都市対抗終了までに決定したチームには、9 月上旬に組み合わせ抽選を行うことや試合開催地及び試合日時を優遇できる措置。また、開催地地元チームが、出来る限り地元球場で試合が出来るような組み合わせ抽選方法など。
  - ◆ 日程
    - ・各地区最終予選 9 月末までに終了
    - ・日本選手権前半（1 回戦） 10 月中旬の土・日
    - ・日本選手権後半（2 回戦～決勝） 11 月上旬に 6 日間
- ※ プロ野球とのスケジュールとの兼ね合いあり。

### 3. 日本選手権大会の5月開催案

日本選手権を主管する近畿地区連盟より日本選手権大会の5月開催案が提出された。しかしながら、事業委員会としては、本連盟だけの視点だけで取り進めることは難しく、当然ながら、各地区連盟や都道府県連盟がそれぞれ関連を持つ地元の関係野球団体との調整が必要であり、また、全てのスケジュールを白紙にして一つずつ絵を描いていく作業になる。ただし、企画としては非常に魅力があり、今後実施の可能性も含めて研究していくこととする。

### 4. 今後の展開

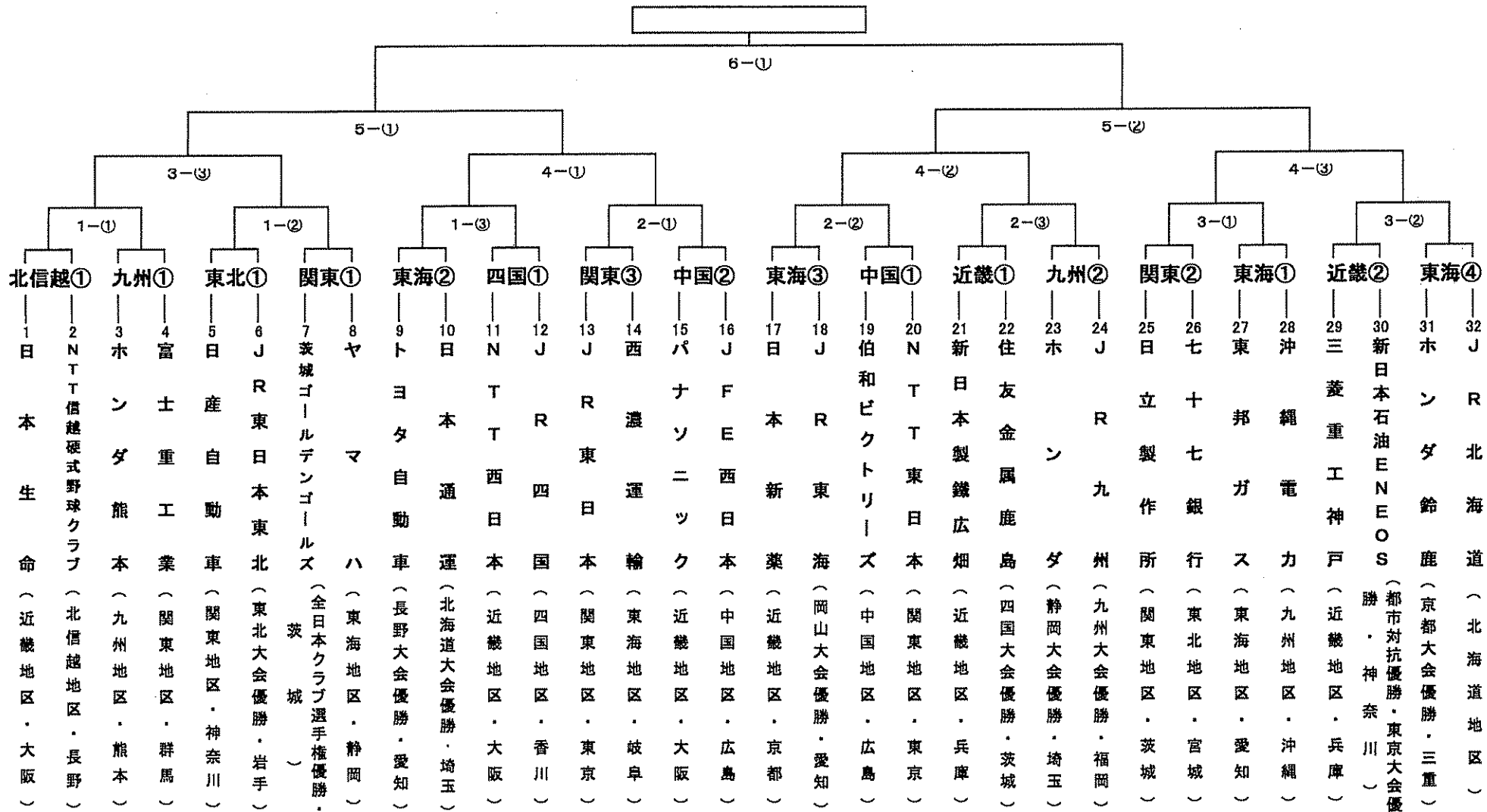
事業委員会として取り組んできた社会人野球制度改革は、地方で開催される JABA 大会の価値観の向上策に始まり、段階をおって進めてきたものである。また、日本選手権改革としての分散開催案は、2010年度実施へ向けて取り組んでいるものである。従って、5月開催案の研究とは別に進めることとし、今後、以下の点について検討する。

- (1) 具体的な要綱案の提示
- (2) 経費シュミレーションの提示
- (3) 広報戦略の提示 (ワーキンググループの設置も検討する。)

以上

# 社会人野球日本選手権大会 一回戦分割開催想定試合日程

※組み合わせ表は第35回大会(2008年)。一回戦は各地区開催、二回戦以降は大阪ドームを想定。  
 ※一回戦の試合会場は記載の地区連盟が前年度中に確定させ、シードされる当該地区チームの試合が指定される。



「注」 ペンチは原則として左側(若番号)を一塁側とする